

八ヶ岳 ふるさと料理 アンバサダー



食と健康を考える会の皆さんと一緒に作ろう!

**このまちのふるさと料理のしじや伝統的な食文化を、
次の世代に伝承する料理教室です。**

第2回八ヶ岳ふるさと料理アンバサダーを開催します。今回学ぶレシピは「こんにゃく芋から作る生こんにゃく」と「巻き寿司」です。

こんにゃく芋から作る出来立て生こんにゃく



毎週売り切れ必至の巻き寿司



【日時】 3月23日(木)10:00~14:00 **【定員】 20人(先着順)**
【場所】 生涯学習センターこぶちさわ **【参加費】 2000円**

お問い合わせがある方は、
080-7738-6689または
m.sato@brahman-s.com
担当(佐藤)までお願い致します。



講師

主催

食と健康を考える会

道の駅こぶちさわ & マジック八ヶ岳

参加申込→

先着順となりますので
お早めにごぞ!





食と健康を考える会とは



八ヶ岳の裾野に広がる高原のまち、この小淵沢町にあって、農村婦人たちはその地に適した土づくりを中心とした農作業を受け継ぎ、家族の健康を食から支えてきました。

家族や地域の健康づくりや遊休農地の活用などを通して、地域の活性化に一助したいと、「食と健康を考える会」を平成7年12月4日に約60名の女性で設立しました。

この会は、これまで食生活を担ってきた女性の視点を大事にしながら、現代の食生活を見直し、郷土の風土が育んだ伝統的な食文化を伝承し、家庭や地域により豊かな食生活と健康づくりを推進すること、また地域特産物の開発と提供、ふるさと薬膳料理店の経営などを通して地域の活性化に繋げることを目指しています。



八ヶ岳ふるさと料理アソバサダーとは

このまちにあるふるさと料理のしじりや伝統的な食文化を、食と健康を考える会が次の世代に伝承していきます。この伝承をしていく人、伝承をされた方を「八ヶ岳ふるさと料理アソバサダー」とし、食文化の保存の一助となります。料理教室のような形でその場を創造し、次の世代に繋げていきながら地元の方や移住者のコミュニケーションの場としても機能します。ここから新しい価値を創造し、新事業として立ち上げていくことで地元の更なる活性化に繋げることを目指しています。

「八ヶ岳ふるさと料理アソバサダー」として伝統的な食文化を未来の子どもたちに残していきます。